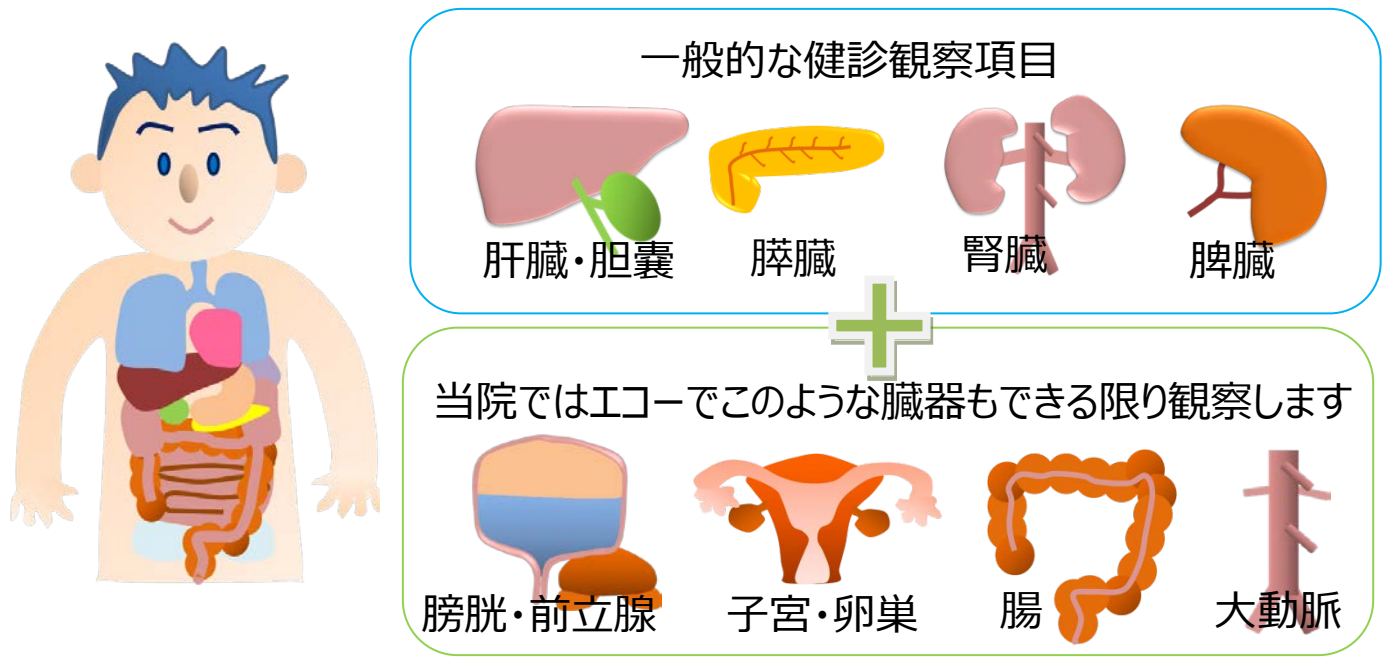


Q. エコーでどんなことが分かりますか？

A. 当院の腹部エコー検査では、肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腎臓といった一般的な健診項目に加え、腹部大動脈、膀胱、前立腺、子宮、卵巣、腸を可能な限り観察しますので、これらに生じる形態的な病気が分かります。たとえば、慢性肝疾患や肝の悪性・良性腫瘍、胆石、などが分かりますし、比較的見つけにくい早期の膵がんの発見に努めています。時には大動脈瘤や早期の大腸がんが見つかることもあります。ただ、エコー検査は被ばくが無い分、骨や空気の多い臓器（肺）の検査は苦手で、必ずなんでも見えるとは限りません。その場合には医師はC Tなどの検査と適宜組み合わせることで適切に診断を行います。

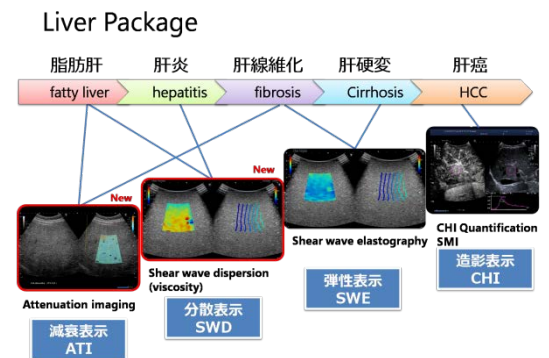
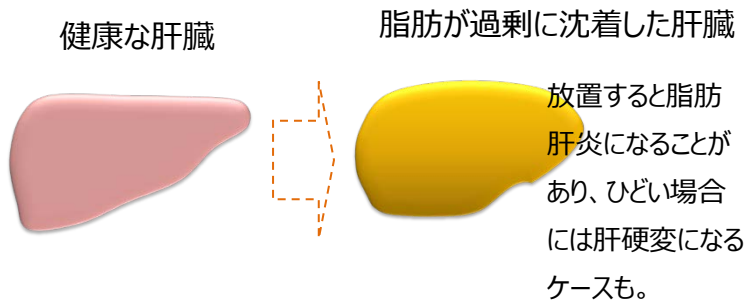
<当院のエコーの特徴です👍>



このたび最新鋭の超音波（エコー）診断装置を導入しました！

Q. 新しい肝臓の検査ってどういうものですか？～脂肪肝を甘くみてはいけません～

A. 当院では脂肪肝や肝障害の進行具合を数値化によって推定する機能を搭載した最新鋭の超音波装置を導入しました。これまでは生検（針で肝臓の組織をとって顕微鏡でしらべる病理組織検査）を行わなければ判断が難しかった“どのくらい組織にダメージがあるのか？”“どのくらい注意が必要な状態か？”をある程度数値で示すことが可能となり、受診者様に分かりやすく提示できます。それにより肝炎治療中の方の今後の治療方針決定や脂肪肝の方の生活習慣改善などに役立ちます。



提供元 キヤノンメディカルシステムズ株式会社